

英語

日本史

世界史

政治・経済

数(文系型)
学

数(理系型)
学

物理

化学

生物

正解・正解例
講評

国語

世界史

解答範囲は、解答番号 から までです。

I 次の文(1)・(2)を読み、下の問い(問1～問11)に答えなさい。

(1) 【引用部分は削除しています】

(カウティリヤ『実利論』上村勝彦訳)

カウティリヤの著作と伝えられる『実利論(アルタシャーストラ)』は政治理論について論じる。カウティリヤは、マウリヤ朝の創始者である に仕えたバラモン出身の宰相である。 インドス文明の滅亡の後、インドに進入したアーリヤ人は都市国家を形成した。その中には有力な国家も現れたが、群雄割拠の時代が続いた。そのようなインドにあって最初の統一王朝がマウリヤ朝であった。このインド統一に大きく貢献した人物がカウティリヤである。カウティリヤはナンダ朝の王に復讐するために、 に王になるための教育を行ない拳兵を促した。そしてナンダ朝は倒れて、彼は復讐を果たしたのである。マウリヤ朝が起こった後は、宰相としての手腕をふるい王国の繁栄に貢献した。そして、その政治哲学が記された書物が『実利論』であり、今日においても高く評価されている。なお、『実利論』自体の内容は著者自身によって記されたものであるが、現在の形にまとめられたのは2世紀から4世紀と考えられている。

問1 下線部③について。ヴェーダとは、古代インドの聖典群の総称です。その中で最古のものである『リグ=ヴェーダ』に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ラーマ王子の冒険の物語である。
- ② パラタ族の王位争奪の物語である。
- ③ カーリダーサによって記された。
- ④ 神々への讃歌が記されている。

問2 下線部⑤について。マウリヤ朝に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① インドス川流域のギリシア勢力を排除した。
- ② この王朝の時代にガウタマ=シッダールタが仏教を開いた。
- ③ スリランカを支配した。
- ④ コーサラ国に滅ぼされた。

問3 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① アレクサンドロス
- ② カニシカ
- ③ チャンドラグプタ
- ④ ナーガールジュナ
- ⑤ パーブル

問4 下線部④について。『実利論』にはヴァルナ制に関して、各ヴァルナの本務が規定されています。バラモンの本務として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

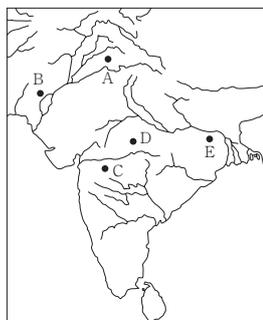
解答番号

- ① 武器をもって戦う。
- ② 宗教儀礼の執行。
- ③ 農耕と牧畜、商業。
- ④ 上位三ヴァルナへの奉仕。

問5 下線部⑥について。インドス文明の遺跡であるハラッパーの位置として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E



問6 下線部⑦について。2世紀から4世紀には、複数の王朝がインドに存在しました。それらの王朝に関して、次の問い(ア)～(イ)に答えなさい。

(ア) クシャーナ朝に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① バクトリア地方から進入した遊牧民が建てた。
- ② アケメネス朝に領土を奪われ衰退した。
- ③ ローマとの交易が盛んであった。
- ④ プルシャブラを首都とした。

(イ) サータヴァーハナ朝に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ハルシャ王がおこした。
- ② デカン高原からインド洋にかけてを支配し、インド洋交易で栄えた。
- ③ チャンドラグプタ2世の時に最盛期を迎えた。
- ④ 仏教やジャイナ教を攻撃するバクティ運動が盛んになった。

(イ) グプタ朝に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ナーランダー僧院が建てられた。
- ② アジャンター石窟寺院の主要部がつくられた。
- ③ サンスクリット語が公用語化された。
- ④ 玄奘が訪れた。

(2) 「日本やチベットの仏教は**大乘仏教**であり、東南アジアやスリランカの仏教は小乗仏教である」と認識される場合があるが、東南アジアやスリランカの仏教を小乗仏教と見なすことは注意を要する。大乘仏教が成立する以前は、**説一切有部**や**上座部**といった様々な仏教のグループが存在していた。大乘仏教が登場した後、これらのグループの仏教は大乘仏教側から「**ヒーナヤーナ** (小乗)」と呼ばれるようになった。この「ヒーナ」という言葉は、「劣った」という意味を有するので、「小乗」という名称は大乘仏教側からの蔑称であると言える。現在の東南アジアやスリランカの仏教は上座部の仏教であるが、それらの地域の仏教徒が自身の仏教を「劣ったもの」と認識しているわけではなく、それらを「小乗仏教」と呼ぶべきではない。

さて、現在の東南アジアやスリランカの仏教は上座部の仏教であるが、過去に遡ると一概にそうであったとは言えない。**バガン朝**やタイ人による最古の王朝である**ウ**のように上座部の仏教を信奉していた王朝もあれば、**シャイレンドラ朝**のように大乘仏教を信奉する王朝も存在した。また、**ビユー**のように大乘仏教と説一切有部の仏教が併存していた国家も存在し、**ドヴァーラヴァティー王国**では、上座部の仏教と大乘仏教の両方が信奉されていた。そして、**チャンパー**ではヒンドゥー教の神に対する信仰が盛んであったと考えられている。

問7 下線部①について。大乘仏教に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① ヴァルダマーナが教理の基礎を理論化した。
- ② ガンダーラ美術とともに各地に伝えられた。
- ③ アショーカ王によって保護された。
- ④ シヴァとヴィシヌを最高神とする。

解答番号

問8 下線部②・①について。バガン朝・ドヴァーラヴァティー王国を建てた民族の組み合わせとして正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

	バガン朝	ドヴァーラヴァティー王国
①	モン人	ビルマ人
②	モン人	クメール人
③	クメール人	ビルマ人
④	クメール人	チャム人
⑤	チャム人	クメール人
⑥	チャム人	モン人
⑦	ビルマ人	モン人
⑧	ビルマ人	チャム人

問9 下線部①・⑥について。ビユー・チャンパーが位置する現在の国の組み合わせとして正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

	ビユー	チャンパー
①	カンボジア	ベトナム
②	カンボジア	ミャンマー
③	ベトナム	カンボジア
④	ベトナム	ミャンマー
⑤	ミャンマー	ベトナム
⑥	ミャンマー	カンボジア

問10 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ムラービト朝
- ② スコータイ朝
- ③ チョーラ朝
- ④ マタラム朝
- ⑤ ムワッヒド朝

問11 下線部⑤について。シャイレンドラ朝の遺跡として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

①

【引用部分は削除しています】

サイネットフォト

②

【引用部分は削除しています】

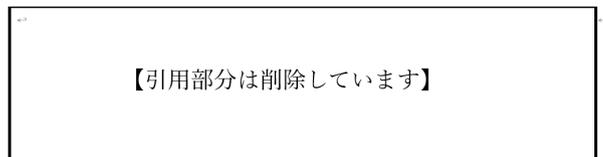
③

【引用部分は削除しています】

④

【引用部分は削除しています】

II 次の文を読み、下の問い(問1～問13)に答えなさい。



(グロティウス『戦争と平和の法』一又正雄訳、一部改変)

マルティン・ルターによって始められた宗教改革は、その後、ヨーロッパ中で宗派対立を生み、数々の争いの火種となっていた。フランスのユグノー戦争、オランダ独立戦争、ドイツの三十年戦争、イギリスのビュリタン革命と名誉革命などである。だがそれらの凄惨な戦争や革命の経験は一方で、現代にまで影響を及ぼすような、人々の対立を理性的に調停する思想をも生み出すことになった。今からちょうど400年前の1625年に刊行されたグロティウスの『戦争と平和の法』は、その代表的なものである。神の存在を前提としない法思想が含まれていたこの著作によって彼は、「近代自然法の父」あるいは「近代国際法の父」と呼ばれている。上に引用した文章は、その『戦争と平和の法』の一節である。グロティウスは三十年戦争の悲惨な状況を目にし、戦争を始めることを規制するのみならず、戦争中であっても許されないことを法として定める必要を強く主張したのであった。

グロティウスは1583年にネーデルラントのホラント州に富裕な旧家の長男として生まれた。幼いころから神童の誉れ高く、同国人である偉大な人文主義者エラスムスに比せられるほどの期待をされて、わずか11歳でライデン大学芸学部に入学生、詩・歴史学・文献学・哲学・言語学・法学などのあらゆる分野に才能を発揮した。14歳の時にはネーデルラント連邦共和国(オランダ)のフランス派遣使節団に随行し、フランス国王アンリ4世に拝謁した際には、国王自らが「ほら見たまえ、ホラントの奇蹟だ」とグロティウスを讃えたという伝説が残っている。

グロティウスは16歳で弁護士となり活躍することになるが、仕事の合間には詩や悲劇を創作し、また文献学についての著作などを次々と発表した。24歳になった1607年

からは検察官の職に就き、オランダの官僚となるが、この時期に、『戦争と平和の法』と並んで名高い著作『海洋自由論』を出版している。大航海時代以来、大西洋貿易はスペインとポルトガルが覇権を握ってきたが、グロティウスはこの著作で航行・交易の自由を主張することで、新たに設立されていた東インド会社を中心としたオランダの権益を擁護したのである。

順風満帆に見えたグロティウスの人生はしかし、カルヴァン派の予定説をめぐるオランダ国内の宗教対立に巻き込まれたことで暗転する。予定説を否定する陣営にいたグロティウスは敗れ、大逆罪の廉で終身禁固の刑を受け、1619年に幽閉されてしまったのである。だが2年後には本箱の中に潜んで脱獄を果たし、フランスへと亡命することになった。『戦争と平和の法』はフランスで書かれ、当時のフランス国王アに献呈されている。

しかしグロティウスはフランスでの生活に馴染めなかった。だが祖国に帰還する道を探るものの果たせず、1635年からはスウェーデンの駐仏大使という職を得て結局パリに居を構えることになる。というのも、三十年戦争の英雄であったスウェーデン王イが、グロティウスを雇うよう遺言を残していたからである。イが戦死した際、彼のテントの中には『戦争と平和の法』が置かれていたと言われていたほど、彼はグロティウスを信奉していたのであった。かくしてグロティウスはフランスの地で数々の著作を出版し、晩年は特に新旧キリスト教会の対立を調停するための本を何冊も書くことになるのである。そして1644年には、学問を愛していたスウェーデン女王クリスティーナからスウェーデンの宮廷に来て働くことを提案されたが、グロティウスはそれを断ったようである。しかし最後は陸路でリユーベックに向かう途中のロストックで、1645年8月、客死してしまう。享年62歳であった。

グロティウスの死の三年後、ウエストファリア条約が結ばれ、三十年戦争は終結した。同条約によって国家主権の不可侵性が確認され、主権国家体制が固まったことで、対等な主権国家間の関係を律する国際法の重要性が高まって行く。そのためもあって、グロティウスの思想的遺産は、後世に大きな影響を及ぼすことになったのであった。

問1 下線部④について。ユグノー戦争に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 14

- ① 「ユグノー」とはカルヴァン派のフランスでの呼び名である。
- ② この戦争のさなか、ボダンは国王の権力を国家主権の概念を用いて擁護した。
- ③ カトリック勢力によってサン=バルテルミの虐殺が引き起こされた。
- ④ この戦争の過程でカペー朝が断絶した。

問2 下線部⑤について。オランダ独立戦争に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 15

- ① スペインのカルロス1世がネーデルラントにカトリックを強制したことが発端である。
- ② ホラント州など北部7州はユトレヒト同盟を結び、イギリスの援助を受けて戦った。
- ③ オラニエ公ウィレムを統領としてネーデルラント連邦共和国(オランダ)の独立を宣言した。
- ④ イギリスではこの戦争の影響で輸出が停滞し、失業者の増加に悩まされた。

問3 下線部⑥について。三十年戦争に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 16

- ① ベーメンのカトリック貴族の反乱が発端である。
- ② カルヴァン派のデンマーク王が参戦した。
- ③ フランスがカトリック側について参戦した。
- ④ ルネサンス期に起きた軍事革命の技術が駆使された。

問4 下線部⑦について。イギリスのピューリタン革命と名誉革命に関する以下の出来事A~Dの順番として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 17

- A ジェームズ1世が王権神授説を唱えて議会を軽視した。
- B 審査法を定めて非国教徒が公職につくことを禁じた。
- C 航海法を定め、オランダと戦った。
- D チャールズ2世が即位した。

- ① A→B→C→D ② B→C→A→D ③ B→D→A→C
- ④ D→A→C→B ⑤ A→C→D→B ⑥ A→D→C→B

問5 下線部⑧について。近代自然法に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 18

- ① 自然法とは、社会や人間を科学的に観察する立場のことである。
- ② 自然法とは、現実に定められた法律のことである。
- ③ 自然法とは、理性を備えた人間に共通する法・倫理として想定されたものである。
- ④ 自然法思想は、社会契約説を批判する根拠となった。

問6 下線部⑨について。アンリ4世に関する記述として誤っているものを、次の中から二つ選び、解答番号19の欄を使用して、二つの番号をマークしなさい。

解答番号 19

- ① ブルボン朝を開いた。
- ② 宰相のリシュリューとマザランが中央集権化をすすめた。
- ③ ユグノーの指導者だったがカトリックに改宗した。
- ④ ナントの王命を発してユグノー戦争を終結させた。
- ⑤ 財務長官にコルベールを登用して重商主義政策を徹底した。

問7 下線部⑩について。大航海時代の探検家と業績の組み合わせとして正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 20

	探検家	業績
①	ヴァスコ=ダ=ガマ	初の世界一周
②	カルティエ	インド到達
③	バルボア	ブラジル漂着
④	カボット	北米大陸探検
⑤	バルトロメウ=ディアス	カナダ到達

問8 下線部⑪について。17世紀におけるオランダの貿易に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 21

- ① バルト海貿易により、材木などを大量かつ安価に手に入れ、造船業が発展した。
- ② オランダ東インド会社は喜望峯以東の植民地経営と交易の独占を政府に認められていた。
- ③ アジアにおけるポルトガルの海上交易網を破壊した。
- ④ マドラスやボンベイを拠点にインドへ進出し、北アメリカにはヴァージニア植民地を建設した。

問9 空欄アに入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号 22

- ① ルイ9世 ② ルイ13世 ③ ルイ14世
- ④ ルイ16世 ⑤ ルイ18世

問10 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① グスタフ=アドルフ
- ② ヴァレンシュタイン
- ③ フェリペ3世
- ④ フェリペ4世
- ⑤ カール12世

問11 下線部①について。グロティウスと同じくクリスティーナに請われてスウェーデンに呼ばれた学者にデカルトがいます。デカルトの著作として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 『パンセ(冥想録)』
- ② 『哲学書簡』
- ③ 『純粹理性批判』
- ④ 『方法序説』
- ⑤ 『諸国民の富(国富論)』

問12 下線部①について。リューベックを示す場所として正しいものを、次の地図の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E
- ⑥ F



問13 下線部①について。ウェストファリア条約に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① スウェーデンが西ポズナンを獲得してバルト海の制海権を得た。
- ② フランスはライン川東岸の一部を手に入れた。
- ③ ドイツでカルヴァン派が公認された。
- ④ スイスの独立が認められた。

Ⅲ 次の文(1)・(2)を読み、下の問い(問1～問13)に答えなさい。

(1) 台湾は、日本から飛行機でも数時間と近く、非常に人気の観光地として、多くの日本人が訪れる土地である。台湾を訪れたことのある人は、夜市と呼ばれるナイトマーケットで味わえる様々な現地の食事や、旧正月をお祝いする伝統のお祭りのランタンフェスティバルなどのイメージを持つであろう。

その華やかさを象徴するように、台湾には「Formosa」(フォルモサ)という別称が存在する。これは、16世紀の半ばに、台湾付近を航行していたポルトガル船の船員が、その美しい緑の島を見て「Ilha Formosa」(イリヤ・フォルモザ。「美しい島」という意味)と呼んだことが起源だと言われている。ここから漢字を当てて「福爾摩沙」、もしくは漢訳して「美麗島」なども表記される。

この台湾を拠点として政権をたて、清朝に対抗したのが鄭成功である。彼は明朝末期に中国南部および日本などで活躍した貿易商の父鄭芝龍と日本人の母を持つ。1662年に成功が死去すると、その孫の代に内乱が勃発し、1683年に清朝に敗北し、鄭氏政権の台湾支配は終わりを迎え、台湾は清朝の支配を受けることになる。清朝は税関の管理の下、外国商船の来港を認め、1757年に広州を入港地とし を通じて、貿易を行なった。

アヘン戦争後に清はさらに5つの通商港を開港すると、西洋列強の台湾への関心はさらに高まった。1856年におこったアロー戦争(第二次アヘン戦争)後、英仏両国は天津条約と北京条約で台湾の開港を規定した。そのような中、1884年に清朝とフランスの間で清仏戦争が起り、台湾にもその影響が及ぶ。台湾の重要性を認識した清朝は、1888年に劉銘伝を初代福建台湾巡撫に任命した。

問1 下線部②について。清朝建国時の状況に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① ホンタイジが国号を後金とした。
- ② チベット仏教と結びつき、教主にダライ・ラマの称号を贈った。
- ③ パスバ(バクバ)文字を改良して満洲文字が作成された。
- ④ 瀋陽(盛京)で国号を清と改めた。

問2 下線部③について。鄭成功に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 明の姓「朱」をなをのることを許され「国姓爺」と呼ばれた。
- ② 清朝は鄭成功に対抗するために、海禁をゆるめて貿易を奨励した。
- ③ ポルトガルから台湾を奪った。
- ④ 兵士として明朝に仕え、貿易には従事しなかった。

問3 下線部④について。明朝に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① アルタン=ハンが明の正統帝を捕らえた。
- ② 北京から金陵に遷都した。
- ③ 租税台帳の魚鱗図冊を作成した。
- ④ 儒教に基づく六論を定めた。

問4 空欄 に入れるのに適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 郷紳
- ② 公行(行商)
- ③ 士大夫
- ④ 互市
- ⑤ 市舶司

問5 下線部④について。アヘン戦争およびその後の状況に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 林則徐がアヘンを取り締まるために上海へ派遣された。
- ② イギリス・フランス・アメリカに領事裁判権を与えた。
- ③ 香港島を割譲した。
- ④ 租界が設けられた。

問6 下線部③について。アロー戦争(第二次アヘン戦争)前後の状況に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① イギリスは、アロー号事件を口実に上海を占領した。
- ② イギリスはロシアとともに清と開戦した。
- ③ アロー号はイギリス領となった香港の船籍だったことがある。
- ④ アロー戦争(第二次アヘン戦争)直前には、イギリスと清朝の貿易は飛躍的に発展していた。

問7 下線部①について。2つの条約に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① アヘン貿易が公認となった。
- ② イギリス・フランスに黄河の航行権を認めた。
- ③ キリスト教の内地布教権が認められた。
- ④ イギリスに九龍半島の南部が割譲された。

問8 下線部③について。清仏戦争前後のベトナムに関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① フランスはベトナムに軍事的圧力を加え、保護国とした。
- ② ベトナムが清朝の冊封を拒絶したため、清仏戦争が起こった。
- ③ 阮福暎はハノイを都に定めた。
- ④ ベトナムとタイを合わせて、フランス領インドシナ連邦を結成した。

(2) 九份は台湾北部の基隆市に位置する台湾有数の観光地である。この地は1890年に金脈が掘り当てられ、瞬く間に三、四千世帯の巨大都市へと変貌した。1947年に起きた二・二八事件について描いた『非情都市』のロケ地としても有名である。

中華人民共和国が成立した後、国民党は拠点を台北に移し、^① 中華民国を存続させた。しかし共産党を中心とする中華人民共和国と台湾の中華民国のどちらを中国として認めるのか、国際連合において、代表権をめぐって問題が起きた。

以後、台湾では国民党による独裁体制が続いてきたが、第二次世界大戦前から台湾に居住していた本省人の政治参加が拡大し、民主化が進んだ。1986年には民主進歩党(民進党)が結成され、96年には台湾初の総統直接選挙が行われた。

2013年には中国では習近平が国家主席に就任し、中台統一を目指すなど、台湾をめぐる国際関係はさらに複雑なものとなっている。

問9 下線部⑤について。二・二八事件勃発以前とそれ以降の台湾に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① この事件以降、台湾全土に戒厳令がしかれた。
- ② 二・二八事件に対する抗議行動を国民党が徹底的に弾圧した。
- ③ この事件の勃発以前から国民党は政府を台北に移していた。
- ④ 二・二八事件は間たばこの取り締まりによる死者の発生が引き金となった。

問10 下線部①について。
(1) 中華民国成立後に臨時大統領となった人物として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 袁世凱 ② 康有為 ③ 梁啓超 ④ 張学良 ⑤ 左宗棠

(2) 中華民国に関する記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 成立当初は五族(漢・満・蒙・朝・藏)を国家の構成要素とした。
- ② 1912年の国会選挙で共産党に敗れた。
- ③ 孫文が国民党を弾圧した。
- ④ 宋教仁は議会を重視する臨時約法に基づく政治を行なった。

問11 下線部①について。共産党に関する記述として誤っているものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 瑞金を首都として中華ソヴィエト共和国臨時政府を樹立した。
- ② 紅軍が国民政府に対する武装蜂起を試みた。
- ③ 英米の援助を受けて、法幣とよばれる統一貨幣を導入した。
- ④ 周恩来を初代首相として、中華人民共和国を成立させた。

問12 下線部⑥について。本省人で初めて総統になった人物として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 陳水扁 ② 華国鋒 ③ 蔡英文 ④ 蔣介石 ⑤ 李登輝

問13 ①について。習近平が国家主席になってから起こった出来事として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

解答番号

- ① 北京オリンピック(夏期)が開催された。
- ② 「一国二制度」が約束されていた香港において、民主的権利が制限された。
- ③ 趙紫陽総書記を解任した。
- ④ 南巡講話が打ち出された。